

総研大ニューズレター

第 9 号 2009. 2 発行

● 目次

- 【今月のトピック】 「物理科学研究科核融合科学専攻長 本島修教授
『米国核融合エネルギー協会優秀功績賞』を受賞 核融合科学専攻」
「基礎生物学専攻の大隅良典教授が 2008 年度朝日賞を受賞 生命科学研究科」
「第 18 回国際土岐コンファレンス開催しました 核融合科学専攻」
「先導科学研究科オープンキャンパスを開催しました 先導科学研究科」
「平成 20 年度関東・甲信越地区及び東京地区実践セミナー (産学連携の部) 開催 葉山本部」

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「物理科学研究科核融合科学専攻長 本島修教授
『米国核融合エネルギー協会優秀功績賞』を受賞」



米国核融合エネルギー協会の優秀功績賞 (Distinguished Career Award) を自然科学研究機構核融合科学研究所本島修 (もとじまおさむ) 所長が受賞し、12 月 3 日 (水)、カリフォルニア州リバモア市のローレンスリバモア国立研究所にて表彰式が行われました。

同賞は、米国の 18 の研究機関で構成される米国核融合エネルギー協会が、1987 年から毎年核融合エネルギーの学術・開発研究において輝かしい業績を持つ研究者に対して授与しているものです。

今回の本島所長の受賞は、京都大学大学院時からのヘリオトロン型装置における研究、平成元年に核融合科学研究所が創設されてからの大型ヘリカル装置の建設と実験及び国際的な共同研究への貢献等が評価されたものです。



表彰式の様子



会場の様子

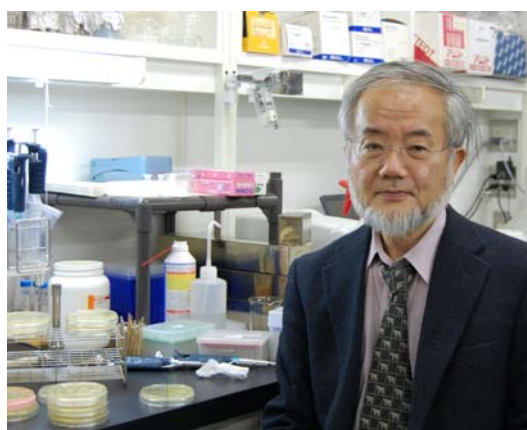
【文責：核融合科学研究所研究推進課】

「基礎生物学専攻の大隅良典教授が 2008 年度朝日賞を受賞」

基礎生物学研究所の大隅良典教授が今年度の朝日賞を受賞しました。朝日賞は学術、芸術などの分野で傑出した業績をあげ、日本の文化や社会の発展、向上に貢献した個人・団体に朝日新聞文化財団より贈られる賞で、元旦の紙面で受賞者が発表されます。大隅教授は、オートファジー（自食作用）という、細胞内のたんぱく質や細胞小器官を分解する現象を酵母で発見し、そのメカニズムについて解明してきました。オートファジーは、細胞が飢餓状態に陥った時のエネルギー生成システムとして、また異常なたんぱく質の蓄積を防ぐ細胞内の浄化システムとして、ヒトを含む多くの生物の様々な生命活動において重要な役割を果たしていることがわかってきています。大隅教授率いる研究グループの、世界を大きくリードする成果が認められ、今回の受賞となりました。



帝国ホテルで行われた贈呈式にて。



研究室にて酵母と共に。

大隅教授は今回の受賞について

「暮れに記者による長時間の取材を受けましたが、新聞記事の内容は本人には見せないと言うことで元旦には、いささか緊張して紙面を開きました。Web site で見るその長い歴史と錚々たる過去の受賞者をみるにつけ、私がこの賞に相応しいのかと思いに駆られますが、これまで展開してきた我々のグループに対する一つの評価であり、沢山の方々の支援の賜物と思って、素直に感謝しようと思います。この間、思いも掛けない多数の人からもお祝いの言葉を頂きました。心から御礼申し上げます。

私は賞などから最も遠い人間であることを自負してきましたし、いつも流行を追わずに楽しくサイエンスをやろうと言うことを言い続けて来ました。小さな発見が現在いささか過剰ではないかと思える程のオートファジーの領域の展開に繋がったことには、大きな感慨があります。

基礎生物学研究所と言う、大変恵まれた研究環境と十分な研究費のサポートにも感謝したいと思います。4月から、新天地でもう一度熱い研究室を作りたいと思っています。」と語っています。（注：大隅教授は3月末に基礎生物学研究所を退職されます。）

贈呈式は1月28日に東京で行われました。

【文責：基礎生物学研究所 連携・広報企画運営戦略室】

「第18回国際土岐コンファレンス開催しました」



会議参加者集合写真

第18回国際土岐コンファレンス（ITC18）を岐阜県土岐市のセラトピア土岐において12月9日（火）から12日（金）の4日間の日程で開催しました。国際土岐コンファレンスは毎年、核融合科学研究所が主催し土岐市で開催している核融合に関する国際会議です。プラズマ物理及び核融合関連技術に関する実験、理論及び開発研究の最近のめざましい進展、とりわけLHDにおける研究の進展は、ヘリカル型核融合実証炉実現に向けた道筋をあきらかに示すものと期待されており、本国際会議のタイトルとして“Development of Physics and Technology of Stellarators/Heliotrons en route to DEMO”（DEMO炉に向けたステラレーター／ヘリオトロンの物理と工学の進展）を掲げました。本国際会議では、ヘリカル型核融合実証炉実現を目指した課題の議論を行うため、最近の大型実験プロジェクトのレビューをはじめ、プラズマ閉じ込め物理に関する実験と理論、定常運転に関する実験や工学技術、プラズマ加熱や燃料供給法、マグネットなどの関連工学技術、先進プラズマ計測、炉設計や新しい炉概念、基礎プラズマ研究等に関して、理論、実験、工学開発研究の最新の研究成果が報告され、議論に供されました。

口頭での発表は、全体講演、レビュー講演、招待講演、一般口頭発表を含み43件、ポスター発表105件、参加者総数としては15ヶ国、201名と多くの方々に参加していただき、成功裏に終えることができました。これも文部科学省、土岐市、核融合科学研究会をはじめとする関係各位のご支援の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

会議は、本島修所長による開会の挨拶に始まり、山本日出夫文部科学省核融合科学専門官から祝辞、大野信彦土岐市長による歓迎の挨拶、森秀樹岐阜大学長から祝辞をいただき、また、地元出身の古屋圭司衆議院議員からは祝電をいただきました。



開会式：本島所長挨拶

開会のセレモニーに引き続いて、フランスカダラッシュにある ITER 機構の池田要機構長から ITER 建設の現状について、また核融合科学研究所の今川信作教授からヘリカル型核融合実証炉 FFHR 設計の進展について全体講演がありました。池田機構長からは、ITER プロジェクトの歴史に始まり、国際プロジェクトとしての ITER 機構の構成と各国の役割分担、フランス ITER サイトの建設の様子、装置の調達計画などについてご講演いただきました。



市民学術講演会の様子

期間中の 12 月 10 日（水）には市民学術講演会を開催しました。市民学術講演会は、地元土岐市を始め一般の方々に日本語で科学の面白さを伝えるために開催している講演会であり、今回は、アラスカ大学に設置したカメラで撮影したオーロラをインターネットで常時中継配信する「Live オーロラ!」プロジェクトを開発、運用されている、クリエイティブ・サイエンスコミュニケーターの古賀祐三さんに「オーロラ中継プロジェクトより巨大な物理現象を見続けて」というタイトルで講演していただきました。美しいオーロラの画像を交え、「Live オーロラ!」プロジェクト立ち上げ時の裏話、今後の夢など興味深い内容のお話をしていただきました。

さらに、核融合科学研究所の井上徳之特任准教授からは「NIFS キッズ・エネルギー科学館とサイエンスコミュニケーション」について、核融合科学専攻金子修教授から「フュージョン研究から産業応用への発信—NIFS 産業創生センター—」について講演がありました。今回の市民学術講演会には 120 名を超える多くの方々に参加いただき盛況裏に終えることができました。



核融合科学専攻金子教授講演

現在、核融合科学研究所を中心に 27 年後のヘリカル型核融合実証炉の実現を目指して研究を進めております。今回の会議を契機に問題と課題が整理され、今後の研究の進め方、そして早期の実証炉実現に拍車がかかったものと確信しております。最後に本会議の開催にあたりまして、関係の皆様からいただきましたご援助、ご協力に感謝し、厚くお礼申し上げます。

【文責：核融合科学研究所研究推進課】

「先導科学研究科オープンキャンパスを開催しました」



去る1月8日（木）及び9日（金）の2日間にわたり、葉山キャンパスに於いて先導科学研究科（生命共生体進化学専攻）のオープンキャンパスを開催しました。

オープンキャンパス初日は、本学の教員からそれぞれの研究分野・研究テーマについてパワーポイント等を用いた説明を行い、その後ポスターセッションを行いました。

夕方には教員のほか、在学生も加わりうち解けた雰囲気の中で情報交換会を開催し交流を深めることができました。

二日目は、全員が生命共生体進化学専攻の各研究室を訪問し、その後の個別相談では予定時間を超えるほど熱心なやりとりがなされました。

【文責：葉山共通事務室】

「平成20年度関東・甲信越地区及び東京地区実践セミナー（産学連携の部）開催」

去る1月30日（金）学術総合センターにおいて社団法人国立大学協会関東・甲信越地区支部及び東京地区支部主催、本学が当番校として標記セミナーを開催しました。

本セミナーは国立大学法人等の産学連携を担当している職員に必要とされる専門分野の習得と能力の向上を図るもので、関東甲信越地区及び東京地区から実務担当者50名が参加して行われました。本学の担当者はもちろん、高エネ研、統数研などの基盤機関の方々も参加していました。



講演をする国立情報学研究所 知的財産室 平出先生

当日は、文部科学省技術移転推進室 吉田室長補佐、国立情報学研究所 知的財産室 平出先生、東京農工大学 鈴木戦略企画室長に講師をお願いし、それぞれ文科省の産学連携施策、研究現場における知財管理、農工大における産学官連携をテーマにお話いただき、参加者はそれぞれの仕事と関連づけて熱心に聞き入っていました。午後からは3グループに分けて産学連携をめぐる問題点を話し合い、最後に代表者に発表をお願いしました。

本セミナーは研修はもとより参加した職員同士の交流も目的としており、終了後に名刺交換する場面が見受けられ、所期の目的は達成されたようでした。

【文責：総務課】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提 出 先
平成 20 年度滞在型研究員 http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000152.html	2 月末頃	国立天文台研究支援係
平成 21 年度特別共同利用研究員 http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000163.html	3 月 2 日(月)	国立天文台研究支援係
第 3 回 日文研出版翻訳プロジェクト http://www.nichibun.ac.jp/number/index.html	3 月末	国際日本文化研究センター

【イベント情報】・・・オープンキャンパス、入試説明会、入試など大学行事に関わるもの。

2 月

日程	時間	行事名	場所
2 日(月) -3 日(火)		日本歴史研究専攻； 入学試験	国立歴史民俗博物館
2 日(月) -3 日(火)		構造分子科学専攻・機能分子科学専攻； 博士後期課程 第 2 回 入学試験	分子科学研究所
3 日(火) -4 日(水)		情報学専攻； 第 2 回 入学試験 http://www.nii.ac.jp/graduate/applications/index1.html#4	国立情報学研究所
3 日(火) -4 日(水)		国際日本研究専攻； 入学試験	国際日本文化研究センター
3 日(火) -5 日(木)		遺伝学専攻； 第 2 回 入学試験 http://www.nig.ac.jp/jimu/soken/graduate_program/annai54_n.html	国立遺伝学研究所
3 日(火) -6 日(金)		アジア冬の学校 「ゆらぎと構造形成の科学 ー生命・物質・宇宙ー」 http://www.dss.nifs.ac.jp/aws2008/index-j.shtml	核融合科学研究所
4 日(水) -5 日(木)		日本文学研究専攻 入学試験 http://www.nijl.ac.jp/~kyodo/soken.files/siken/index.html	国文学研究資料館
4 日(水) -6 日(金)		基礎生物学専攻； 第 2 回 入学試験	基礎生物学研究所

5 日(木) -6 日(金)		地域文化学専攻, 比較文化学専攻; 入学試験	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/education/university/guide/		
15 日(日)	13:30-15:00	湘南国際アカデミア 「最新研究からわかった現代病と食生活 ー死んだ遺伝子の残した物ー」	湘南国際村センター 共催: 総合研究大学院大学
	http://www.k-i-a.or.jp/shonan/work/academia/index.html#2		
23 日(月)		日本文学研究専攻; 合格者発表	葉山キャンパス, 及び 国文学研究資料館
	http://www.nijl.ac.jp/~kyodo/soken.files/siken/index.html		
24 日(火) -25 日(水)		生命共生体進化学専攻; 第 2 回 入学試験	葉山キャンパス
24 日(火) -26 日(金)		アジア冬の学校	宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス
	http://www.isas.jaxa.jp/soukendai/winter_school/2008/English/index_E.html		

3 月

日程	時間	行事名	場所
19 日(木)	12:15~14:00	統計科学専攻: 学生研究発表会 (平成 20 年第 2 回)	統計数理研究所
23 日(月)		学術交流会	会場: 湘南国際村センター (葉山キャンパス)
	http://www.soken.ac.jp/news_all/0679.html		
24 日(火)		3 月学位記授与式	葉山キャンパス
	http://www.soken.ac.jp/news_all/0679.html		

4 月

日程	時間	行事名	場所
9 日(木)		4 月入学式	葉山キャンパス

<基盤機関の行事>

2 月

日程	時間	行事名	場所
3 月 1 日(日) まで		パネル巡回展 「日本の宇宙科学の歴史」	アクアトム 協力: 宇宙航空研究開発機構
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml		
3 月 31 日(火) まで		企画展「インド刺繍布のきらめき-バシ ン・コレクションに見る手仕事の世界」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/indo/		
1 日(日)	15:00-17:00	小林誠特別栄誉教授ノーベル物理学 賞受賞記念講演会 ー 反物質はなぜ消えたのか ー	エポカルフくば(つくば国際会議場)・ 大ホール 主催: 高エネルギー加速器研究機構
	http://www.kek.jp/ja/event/nobelkouenkai/index.html		

3 日(火) -26 日(木)		パネル巡回展「太陽のふしぎ」	岩見沢郷土科学館 協力:宇宙航空研究開発機構
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml		
7 日(土)	10:30-11:20	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/gallerytalk.html		
18 日(水)	18:30-19:45	平成 20 年度市民講座 文化情報とコンピュータ「文化遺産を 未来に継承するデジタル化の技術と は？」	国立情報学研究所
	http://www.nii.ac.jp/shimin/index-j.shtml		
21 日(土)	10:30-11:20	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/gallerytalk.html		
21 日(土)	13:30-17:30	小林・益川両先生 ノーベル物理学賞 受賞記念シンポジウム 「小林・益川理論とその検証」	日比谷公会堂 主催:高エネルギー加速器研究機構
	http://belle.kek.jp/km-sympo/		
23 日(月)		統計数理研究所公開講座「マルコフ 連鎖モンテカルロ法の基礎と実践」	統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/lectures/20p.html		
25 日(水)	14:00-16:30	日文研・伝統文化プロジェクト公演会 能楽囃子と西洋管弦楽との饗宴	国際日本文化研究センター
	http://www.nichibun.ac.jp/event/dento.html		
28 日(土)		宇宙学校・とうきょう	東京大学教養学部 11 号館 1106 教室 主催:宇宙航空研究開発機構
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/2009/0228_tokyo.shtml		

3 月

日程	時間	行事名	場所
3 日(火)	15:00~17:00	新プラズマシミュレータ運用開始記念 市民学術講演会 「シミュレーションにより血液の流れを探 るーマルチスケール・マルチフィジック ス手法による最先端医工学ー」	多治見市産業文化センター 5 階大ホール 主催:核融合科学研究所
4 日(水) -4 月 5 日(日)		パネル巡回展「太陽のふしぎ」	アクアトム 協力:宇宙航空研究開発機構
		http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml	
7 日(土) -22 日(日)		パネル巡回展 「日本の宇宙科学の歴史」	宮崎科学技術館 協力:宇宙航空研究開発機構
		http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml	
7 日(土) -26 日(木)		パネル巡回展「月のふしぎ」	綾部市天文館パオ 協力:宇宙航空研究開発機構
		http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml	
18 日(水) -19 日(木)		年度研究報告会	統計数理研究所

20 日(金)		自然科学研究機構シンポジウム	東京フォーラム
---------	--	----------------	---------

4 月

日程	時間	行事名	場所
11 日(土)		第28回宇宙科学講演と映画の会	新宿明治安田生命ホール 主催:宇宙航空研究開発機構

<教員の受賞情報>

物理科学研究科

構造分子科学専攻

○ 唯美津木 准教授

財団法人井上科学振興財団 主催 第1回井上リサーチアワード 受賞

日本放射光学会 主催 第13回日本放射光学会奨励賞 受賞

機能分子科学専攻

○ 長坂将成 助教

財団法人井上科学振興財団 主催 第1回井上研究奨励賞 受賞

高エネルギー加速器科学研究科

物質構造科学専攻

○ 原田健太郎 助教

日本放射光学会 主催 第13回日本放射光学会奨励賞 受賞

素粒子原子核専攻

○ 小林誠 名誉教授・元専攻長

つくば市から「つくば市名誉市民」の称号を授与

複合科学研究科

統計科学専攻

○ 染谷博司 助教

電気学会産業応用部門産業計測制御技術委員会 主催 優秀論文発表賞 受賞

情報学専攻

○ 河原林健一 准教授

財団法人井上科学振興財団 主催 第1回井上リサーチアワード 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第9号をお届けします。

ついこの前新しい年が始まったかと思っていたのですが、もう2月になり、今年も既に12分の1が過ぎたことになります。

今日は立春で暦の上では春の始まりですが、寒さはまだまだ厳しくインフルエンザも流行しているようです。暖かいものを食べて、ゆっくり休養をとって、健康管理には気をつけたいものです。

寒さの中に馥郁として花開く梅に、また桜の枝に堅く閉じている蕾に、明るい日差しに光の春を、来る春を感じることができます。身近な自然の息吹を感じながら寒い日々を乗り切りたいと思います。〔総務課〕

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2009年2月4日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2008 SOKENDAI